



2020年2月14日

各 位

会社名 株式会社メタップス  
代表者名 代表取締役社長 山崎 祐一郎  
(コード番号: 6172 東証マザーズ)  
問合せ先 企画本部長 尹 喜重  
(TEL. 03-6459-4670)

### 減損損失等の計上に関するお知らせ

当社は、2019年12月期の連結決算において、本日公表の「事業ポートフォリオの見直し及び今後の注力領域並びに中期経営方針に関するお知らせ」、「子会社（孫会社）の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」及び「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）及び債権放棄に関するお知らせ」にてお知らせした組織再編及びその他の事業計画の見直しに伴い、以下のとおり減損損失等を計上いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 内容

##### ・ 韓国事業

当社の暗号資産関連事業の撤退に伴い、個別業績において株式の減損損失3,079百万円及び貸倒引当金繰入2,250百万円を事業構造改善費用として特別損失に、連結業績においてのれんの減損損失2,161百万円及びその他無形資産の減損損失1,044百万円をその他の費用に計上いたしました。

##### ・ MCG Asia Pte. Ltd.

当社の暗号資産関連事業の撤退に伴い、個別業績において株式の減損損失408百万円を事業構造改善費用として特別損失に、連結業績においてその他無形資産の減損損失269百万円をその他の費用に計上いたしました。

##### ・ 株式会社メタップスリンクス

当社による同社の吸収合併に伴い、個別業績において株式の減損損失150百万円及び貸倒引当金繰入20百万円を事業構造改善費用として特別損失に、連結業績においてその他無形資産の減損損失28百万円を計上いたしました。

##### ・ 株式会社BUZZCAST

持分法適用会社である同社の事業計画を見直した結果、同社が事業展開する動画マーケティング事業における競争激化を背景とした事業環境を鑑み、IFRSに基づく減損テストを実施し、将来の回収可能性を検討した結果、連結業績においてのれんの減損損失174百万円を持分法による投資損益に計上いたしました。

#### 2. 今後の見通し

本件の当社連結業績に与える影響につきましては、本日公表の「2019年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」に反映しております。

以上